

(別添 10)

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和 5 (2023) 年度

施設名	栃木県みかも山公園
施設所管課	県土整備部都市整備課
指定管理者	みかも山公園指定管理グループ ・公益財団法人栃木県民公園福祉協会（法人番号9060005007605） ・栃木県公園事業協同組合（法人番号5060005007682）
指定期間	平成31（2019）年4月1日 ～ 令和6（2024）年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	栃木市岩舟町下津原 1 7 4 7 - 1
施設の概要	①指定管理者による管理面積 1 6 5 . 9 h a ②主要な施設 ハング・パラグライダー場、フラワートレイン、わんぱく広場、冒険砦、富士見台、みかもハーブ園、万葉庭園、三鑫庭園、湿生植物園、カタクリの園、アズマイチゲの園、香楽亭、緑の相談所 等
業務内容	①公園の維持管理に関する業務 ②有料公園施設の利用の許可に関する業務 ③公園の運営に関する業務

2 収支の状況

令和 5 (2023) 年度

(千円)

収入			支出		
指定管理※2	指定管理料	1 2 3, 1 0 0	指定管理※2	事業費	1 4, 1 1 2
	利用料金収入	2 4, 9 7 7		管理運営費	7 2, 5 1 3
	その他収入※1	1, 1 5 9		人件費	4 3, 4 7 1
				その他支出※1	1 0, 1 3 7
	合計	1 4 9, 2 3 6		合計	1 4 0, 2 3 3
指定管理業務収支差額①		9, 0 0 4			
自主事業		2 5, 3 7 5	自主事業		2 4, 9 1 0
自主事業収支差額②		4 6 5			
収支差額（①+②）		9, 4 6 9			
備考（※1 その他収入の主なものを記載） エネルギー価格高騰対策支援金 1 6 4 千円 負担金 8 5 5 千円			備考（※1 その他支出の主なものを記載） 租税公課 1 0, 1 3 7 千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和 4 (2022) 年度 (前年度)

(千円)

収入			支出		
指定管理※2	指定管理料	1 2 3 , 1 0 0	指定管理※2	事業費	1 3 , 8 1 9
	利用料金収入	2 5 , 8 9 1		管理運営費	7 9 , 0 9 1
	その他収入※1	5 , 3 9 7		人件費	4 2 , 6 8 6
				その他支出※1	9 , 8 5 6
	合計	1 5 4 , 3 8 8		合計	1 4 5 , 4 5 3
指定管理業務収支差額①		8 , 9 3 5			
自主事業		2 5 , 0 1 0	自主事業		2 4 , 4 8 4
自主事業収支差額②		5 2 6			
収支差額 (①+②)		9 , 4 6 1			
備考 (※1 その他収入の主なものを記載) ・ 雑収入 4 , 5 7 5 千円			備考 (※1 その他支出の主なものを記載) ・ 租税公課費 9 , 8 5 6 千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

	令和4（2022）年度 （前年度）	令和5（2023）年度
公園利用者	925,691人	868,558人

施設名（利用料金施設）	令和4（2022）年度 （前年度）	令和5（2023）年度
ハング・パラグライダー	23人	20人
モノラック	160人	140人
フラワートレイン	62,567人	60,390人
合 計	62,750人	60,550人

施設名		令和4（2022）年度 （前年度）	令和5（2023）年度
緑の相談所	相談件数	26回	86回
	催し物回数 （延べ人数）	42回 （24,725人）	44回 （26,603人）
	講習会回数 （延べ人数）	39回 （495人）	41回 （480人）
香楽亭	講習会回数 （延べ人数）	36回 （1,534人）	38回 （1,258人）

4 サービス向上に向けた取組

(1) 基本テーマに基づいた管理運営

- ・動植物の貴重な生息環境を保護・保全するため定期的なモニタリングを実施し、確認できた野鳥や草花等は緑の相談所で紹介したほか、掲示板や看板を設置し紹介した。
- ・遊具等の安全管理要領に基づき、日常点検や定期点検を行い、修繕を適時実施した。また、専門業者によるより高度な点検も実施し、点検結果を踏まえた修繕を施すなど来園者が安心安全に利用できるようサービスの向上に取り組んだ。
- ・緑の相談所では、公園の四季折々の自然に親しんでいただけるよう「早春の花散歩」「キノコ探検」「自然観察会」「バードウォッチング」等の特色のある多様な講座や展示会を開催した。
- ・香楽亭では、「ハーブの寄せ植え」「ハーブ料理」「エクササイズ」「青空ヨガ」など講座のほか、「アメリカンフラワー展」「プリザーブドフラワー展」など展示会や体験教室を開催した。
- ・三毳山が万葉集で詠われていることから、三毳山を題材にした短歌を通年で募集し、優れた作品の表彰と応募作品の展示会や短歌講座を開催した。

(2) 利用者満足度を高める管理運営

- ・「万葉庭園秋のお茶会」や「寄せ植え&サシェづくり」などを企画し「とちぎグリーンフェスタ2023」を開催した。
- ・「いちごトレイン」や「鯉のぼりトレイン」「ハロウィントレイン」等のイベント装飾トレインを運行した。
- ・フラワートレインの平日料金値下げ、土日祝日の団体割引など利用しやすい料金で運営した。
- ・フラワートレインにおいて障がい者利用は無料とした。
- ・公園の魅力が堪能できるように、四季折々の自然観察会や写真撮影会を開催した。
- ・豊かな自然や歴史を楽しみながら健康づくりができるように、ウォーキングコースを設定、「とちぎ健康づくりロード」に登録し健康づくりに活用した。
- ・SNSを使用し、最新の情報が掲載されるよう花情報やイベント情報の発信を行った。また、ホームページからも講座の申し込みを行った。
- ・東口広場では、親子で楽しめるバッテリーカー広場を設置した。
- ・フラワートレインを利用すると香楽亭での買い物が割安になる「トレイン割」を実施した。
- ・東池にコイのエサ販売機を設置し、小さな子供も生き物と触れ合える場を提供した。
- ・売店事業にキャッシュレス決済を導入し、利便性を高めた。
- ・イベント時にキッチンカーを出店し、食の充実を図った。

(3) 自然環境を保護・保全する管理運営

- ・ 自生するカタクリ、ニリンソウ、アズマイチゲ、キツネノカミソリなど山野草の生育環境を保全するため、区域ごとに管理方針を設定し取り組んだ。
- ・ 環境保全の大切さを伝えるため、「万葉植物写真展」「木の実と秋の山野草を見つけよう」「バードウォッチング」「栃木県の昆虫写真展」などを開催した。
- ・ 特定外来生物クビアカツヤカミキリの防除に際し、1本1本地道な駆除を行い、被害拡大を防いでいる。
- ・ ナラ枯れについて、倒木や枯れ枝落下による危険防止を図るため、限られた資金の中で、できる範囲で伐採処理を行った。
- ・ ブルーベリーの苗木の無料配布や、公園の木の実や小枝で作る工作教室、キノコを観察する講座を開催し、自然の恵みを感じられる機会を提供した。

(4) 地域活動拠点として地域と共に生きる公園づくり

- ・ みかも山公園、とちぎ花センター、いわふねフルーツパークと連携し、各施設で他施設のイベント案内を実施した。
- ・ 愛パークとちぎ事業、私たちの花壇事業を推進し、地域住民や企業などが継続的に取り組めるよう支援した。
- ・ ハーブ園では、除草や花植えを行うボランティアを募集し、ともに管理に取り組んだ。
- ・ 地元の佐野市茶華道協会との協働により、万葉庭園でお茶会を実施した。
- ・ みかも山公園緑の相談所友の会と共に、展示会や緑の即売会、花壇植栽、花植えイベント等を開催した。
- ・ 香楽亭の体験講座では、とちぎ花センタースタッフを講師として招きコラボ講座として、花植え講座を開催した。
- ・ 北関東フラワーパークライン協議会の会員として、あしかがフラワーパーク等会員施設と広域連携を行い、公園の魅力を発信した。

(5) 効率的・安定性のある管理運営

- ・ 管理グループの各構成団体の得意分野を活かして、施設管理・緑地管理等の多岐に渡る業務を適切に役割分担することで、効率化と安定化を図っている。
- ・ ご意見箱、電話、メール、直接応対等により利用者の意見を受け付けた。
- ・ 苦情内容を全従業員に周知徹底させ、原因究明と再発防止に向けて取り組んだ。
- ・ 公園管理運営士など公園管理運営技術に関する有資格者を配置した。
- ・ 災害発生時のマニュアルを作成、訓練を実施し、来園者の避難誘導等安全確保に努めた。
- ・ 園内放送や巡回により、安全確保と防犯に取り組んだ。
- ・ 一括契約、一括購入により経費削減を図った。
- ・ スタッフを対象に作業機械の取り扱い講習、法面ロープ高所作業講習、現場でのKY活動研修等を行った。

(6) 施設利用提供の実施計画

- ・ 休園日を設けず年間を通して開園した。併せて管理事務所も開所した。
- ・ 春休み期間には施設の休業日を設けず、緑の相談所、フラワートレイン、香楽亭の臨時営業を行った。
- ・ フラワートレインは春休みの繁忙期の平日について、計画的に増便運行し、利用者の利便性、サービスの向上を図った。
- ・ 近隣市町、観光施設と連携し、観光情報や花情報、イベント情報など発信した。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法				
・ 管理事務所に意見箱を常時設置し、ご意見票を回収				
回収件数 76件				
主なご意見票の項目	良い	良い方	あまり良くない	悪い
公園内はきれいでしたか	56.9%	36.1%	5.6%	1.4%
公園の管理状況はいかがでしたか	43.5%	55.1%	0.0%	1.4%
花壇や樹木などの植物の管理状態はいかがでしたか	55.9%	39.7%	4.4%	0.0%
スタッフの対応はいかがでしたか	53.3%	45.0%	1.7%	0.0%
・ ホームページで意見を受付				
・ イベントや緑の相談所の講座の参加者へアンケート調査を実施				
・ みかも山公園連絡協議会を開催し、意見・要望を聞き取り				
主な利用者意見（苦情・要望）		対 応		
・ 歩行中、木片が上から落ちてきて驚きました。枯れて落ちるのでしょうか。		・ 枯損木で危険と思われる樹木については、順次伐採等の処理を行っておりますが、危険と思われたときは遠慮なく事務所にご連絡下さい。		
・ 分岐の所に小さくても良いので案内マップがあると、より楽しく歩けると思います。		・ 各入り口で案内マップを配布しています。分岐点への案内マップ等の設置は今後の検討課題とさせていただきます。		
主な利用者意見（積極的評価）				
・ とても楽しく過ごせました。トレインが気持ち良かったです。皆さんに優しくしていただけてありがたかったです。また遊びに来たいです。				
・ 広々として花もきれいでイベントも見ました。				

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
- SNSやホームページに、カタクリやキツネノカミソリなどの開花情報等を適時掲載し、利用しやすい情報を提供した。 - コンソーシアムを組んで公園を管理していることで、高木の枝下ろしや民家隣接支障木の伐採、枯損木処理、施設修繕、突発的に発生した倒木などの事案に対して、迅速安全に対応することができた。 - 危険木の早期発見に努め、迅速に危険木を処理することができた。 - クビアカツヤカミキリの被害木の早期発見対処に努め、データ化した。 - ナラ枯れについて、被害木の調査、状況把握に努め、倒木等の危険の回避ができた。 - 体験講座のチラシを作成し、県内外の公民館等へ送付し誘客に取り組んだ。 - 香楽亭の体験講座参加者アンケートでのご意見を参考に、次の講座開催に向けて講師と改善の打合せを行い、内容の充実に取り組んだ。 - 香楽亭では、みかも山公園オリジナルメニューの開発に取り組み、「レモンガラスソフトクリーム」が好評を得た。また、リピーターを増やすため「ポイントカード」を導入し喜ばれた。 - 香楽亭での食事提供をスムーズにするため、商品引き渡しブザーを導入した。 「ツリークライミング体験」「カヌー乗船体験」「セグウェイ乗車体験」等を企画、「みかも山フェスタ」を開催した。大変好評であったため、2回開催した。 - 施設や遊具の点検で確認された不具合の修繕に努め、事業計画以上の修繕を実施した。 - フラワートレインは致命的な故障を防ぐために、点検指導事項の早期改善と計画修繕を行った。その結果、長寿命化を図りながら安全に運行することができた。 - 三毬庭園、万葉庭園、ハーブ園の景観維持と魅力向上を目標に、事業計画よりも多く除草や樹木剪定を実施した。

・ハーブ園におけるボランティアの育成、愛パークの組織化を行い、良好な管理が行えた。 ・来園(登山)の思い出やお土産として、「三畳山の山パッチ」を製作・販売し好評を得ている。 ・低山の特性を活かし「トレイルランニング」を開催した。好評のため、2回開催した。新たな公園利用層を掘り起こす契機となった。今後も民間事業者との連携をはかり、山の魅力を伝えられるよう自然を活かした企画を検討する。 ・ハング・パラグライダー場のPRと利用促進を図るため、みかも山ハング・パラグライダークラブと「パラグライダー空中浮上体験イベント」を開催し、利用促進に取り組んだ。 ・公園内の巡回や施設日常点検を行い、危険箇所や不具合箇所の早期発見、安全管理に取り組んだ。
公園の特性を生かした管理運営に向けた取組
・カタクリ、ニリンソウ、キツネノカミソリ、ヒガンバナなどの群生地は、みかも山公園の重要ポイントと捉え、年間計画を立て維持管理作業を実施した。 ・かたくりの園では、繁殖するキツネノカミソリの球根を抜根するほか、開花後の種子形成の前に刈払いを行い、カタクリ群生地の環境保全を行った。大田和群生地ではキツネノカミソリを保護し、カタクリとの共生エリアとして管理を実施した。 ・山からの眺望箇所の改善を図る樹木の伐採、剪定を実施した。 ・イノシシ等有害鳥獣の被害を防止するため、撃退用ライトを設置し、防除に努めた。
今後改善・工夫したい事項
・かたくりの園では、近年、キツネノカミソリが増え始め、カタクリの育成を阻害しているので、キツネノカミソリの抜根に取り組む。ボランティアに協力を働きかけ、一緒にカタクリ群生の保全に努める。 ・松くい虫やクビアカツヤカミキリ、カシノナガキクイムシによる枯損木が多いので、巡回監視を行い処理に取り組む。伐採したエリアの森の再生に取り組む。 ・特定外来生物であるクビアカツヤカミキリが園内で確認されているため、マニュアルに従い巡回監視を強化し拡散防止に努める。 ・三畳庭園、万葉庭園は、散策利用の他、写真撮影としても利用されていることから、定期的に樹形を整える剪定や手入れを行い、庭園景観維持に努める。 ・作業事故防止のため、スタッフの安全教育を図ると共に、KY活動を実施し事故の防止に努める。 ・愛パーク活動を推進するため、参加者に対し香楽亭利用の割引を行い活動推進に努める。 ・ハーブ園の除草などボランティアへの参加がし易くなるよう環境づくりに努める。 ・令和6年4月オープンの「みかも自然の家」と連携をはかり、新たな客層を開拓する。 ・トレイン事業の券売機にキャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性を向上させる。

7 所管課室による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	① 住民の平等利用が確保されたか。	適切に実施されている。	B
	② 使用許可に関する権限が適正に行使されたか。	所定の手続きに則り、適切な許可が行われている。	B
	③ 高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか。また、平等利用が確保できない場合の対応は適切か。	高齢者や身障者に対し配慮するなど事業計画書どおりされている。	B
2. 施設の効用の最大限発揮	① 施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか。	事業計画に基づき、施設の設置目的に沿った業務が実施されている。	B
	② 施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか。	花の見頃やトレインの運行状況等SNSを活用したほか、オリジナルハーブメニュー等を導入し利用促進を図った。	B
	③ 利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか。	利用者の満足度は昨年並みだった。	B
	④ 利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか。	要望・苦情に対して、適切且つ迅速に組織対応している。	B

	⑤ 施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか。	日常・定期点検を実施し、その記録が保管されているとともに、管理打合せ簿にて修繕の提案・修繕実施報告され、その修繕履歴が適切に保管されている。また、備品の管理は適切に実施されている。	B
	⑥ 指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか。	体験事業は料理系、クラフト系(アロマ等)講座を中心に内容を刷新し、新規受講者開拓に努めた。	B
3. 管理を安定的に行う物的人的基礎	① 組織体制は適正か。	当該業務を概ね適切に遂行できる組織となっている。	B
	② 収支は適正でバランスがとれたものか。	概ね適正である。	B
	③ 経費の縮減に取り組まれてきたか。	事業計画書どおり多目的、多用途に従事するスタッフを配置し人件費を削減するとともに、保険契約等は一括契約を行い経費削減に取り組んでいる。	B
	④ 人材育成は適切に実施されているか。	公園管理に必要な資格の取得や技術と能力を向上するため、事業計画書に基づいた研修を実施した。	B
	⑤ 危機管理体制(事故、緊急時の対応)は確保されているか。	緊急時連絡体制により、関係部署との連絡体制は確保できている。また、事故・異常気象時の対応も適切に対応・報告がなされていた。	B
	⑥ 県や関係機関との連携体制は確保されているか。	県や関係機関と連携し、管理運営を行っている。	B
4. 個人情報保護	① 個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか。	個人情報の保護に関する要領を定め、適切に保護を行っている。	B
	② 情報公開は適切になされているか。	情報公開事務処理要領を定め、適切に運用している。	B
5. その他	① 施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか。	適切な自己評価が行われた。	B
	② 自主事業が計画どおりに実施されているか。	自主事業について、適切に実施された。	B
	③ イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか。	佐野市茶華道協会と連携しお茶会を実施するなど地域との連携に取り組んだ。万葉庭園の利活用も図った。	B
	④ 環境への配慮(騒音・光害対策、ごみ削減等)がなされているか。	公園利用者にごみの持ち帰りをお願いし、ごみの削減に努めている。	B
	⑤ その他管理運営上の特記事項	新型コロナウイルス感染症対策を図り安全な管理運営を実現した。	B
総合的な評価			
・令和5年度の利用者数は前年度から約57千人減の868千人となった。 ・樹木管理や施設修繕等の通常の維持管理に加え、県と連携してクビアカツヤカミキリ被害・ナラ枯れの防除に取り組むことで、良好な管理状態を保っている。 ・みかも山フェスタやトレイルランニングなど、地形を生かしたイベントを実施し、魅力アップに努めている。 ・今後とも公園の特色を生かした管理運営を行い、利用者満足度の向上に努めてほしい。			

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して優れた取組となっている。
- B：事業計画どおりの取組となっている。
- C：事業計画に対して劣る取組となっている。
- D：事業計画に対して著しく劣る取組となっている。